

# みぬま見聞館だより No.34

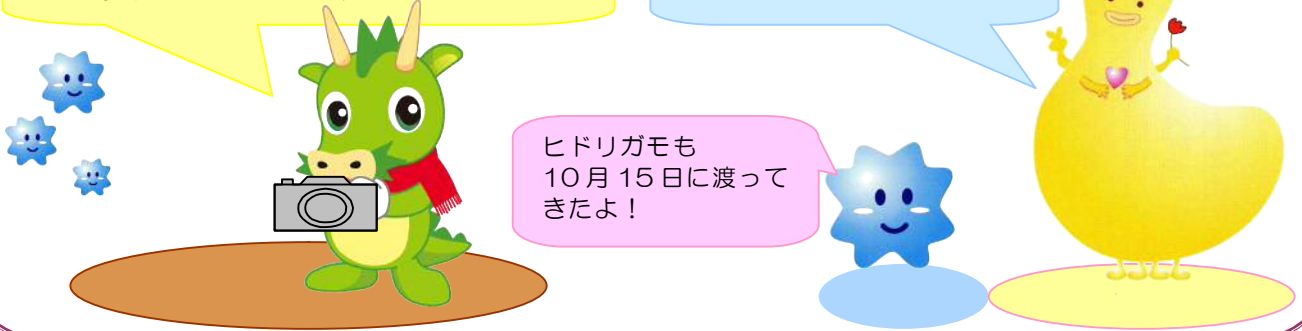
平成26年12月1日発行

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター“クリンちゃん”と“ウォーターベア”より】

これからは、たくさんの種類の冬鳥が渡ってくる季節だね！カメラで撮影しよう！

コガモは9月26日に渡ってきたよ！

ヒドリガモも10月15日に渡ってきたよ！



## カイコの原種発見！！！！・・・・・・・・・・クワコ

みなさん『クワコ』って知っていますか？  
 カイコの先祖で『クワコ』を家畜化させ、絹糸をたくさん採るように改良したものがカイコだそうです。

ある日、庭園のクワの木を剪定（せんてい）していたところ『クワコ』の黄色いマユを見つけました。

平成20年の9月に幼虫を見つけ、毎日クワの葉を与え成虫まで育てたことがあります。それ以来会うことはありませんでした。6年ぶりにマユを見つけ、そのそばに卵と若齢幼虫も見つけました。そのほかにもいろいろ

な大きさの『クワコ』を見つけることができました。あるものはじっとしてまるで枝のようです。成虫の写真は6年前に育てた時の写真ですが、みなさんもクワの木に黄色いマユを見つけたときは『クワコ』の幼虫を探してみてください。終齢幼虫は目玉模様でとても愛嬌がありますが、鳥にはヘビに見えて怖いようです。



クワコの終齢幼虫



クワコの卵



鳥フン模様の幼虫



枝に化けている幼虫



成虫の顔



成虫



黄色いマユ

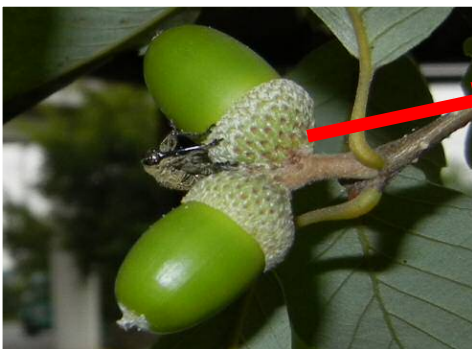
庭園の小さな<sup>せんていし</sup>剪定士・・・ハイロチョッキリ



9月頃庭園を歩いていると、通路に写真のようなコナラの実が枝・葉ごと落ちているのを見かけます。枝の切断面はまるでハサミで切ったようで、これは『ハイロチョッキリ』という虫の仕業（しわざ）です。

ある日、生き物に詳しい人が庭園のコナラの木にその虫を見つけ教えてくれました。しばらく観察してみると、口をドングリの殻斗（ぼうしの部分）に刺しているところで、いくつかのドングリに穴を空けた後、最後に穴を空けたドングリの付いた枝をまるでハサミ

で切るように切断しました。産卵の場面は見ることはできませんでしたが、枝を見事に切り落とす瞬間を見ることができました。その時間はおよそ10分位で、その後木の上へ飛び去ってしまいました。写真はドングリに空いた穴の部分を中心に指で割ったところです。中に白い卵があり、孵（かえ）った幼虫はしばらく実の中身を食べた後、土にもぐり冬越しをするようです。よくドングリを拾って置いておくと、そばを白い虫がはっていることがあります。この虫の幼虫だったのですね！皆さんも、コナラの木になっているドングリを観察してみてください『ハイロチョッキリ』に会えるかもしれません。



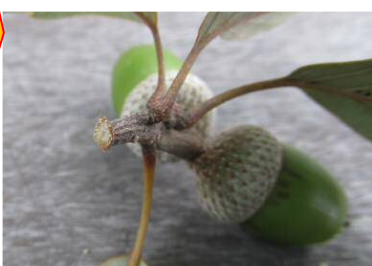
ドングリの殻斗（かくと）に穴を空ける



この後産卵して、枝を切り落とす



枝が徐々に切られて傾いていく



切り口はまるでハサミで切ったよう



穴を空けた場所



ドングリを割ってみると産卵された卵



## 第14回さいたま市環境フォーラムに参加しました

10月10日(金)11日(土)の2日間、さいたま新都心駅東西自由通路内で開催された“環境フォーラム”に参加しました。さいたま市が環境保全の一環として毎年行っているもので、今年で14回目となります。市民活動団体、事業者、市などが各ブースで展示を行い、スタンプラリーも行われました。当センターでは、水環境の大切さを伝えるために、し尿処理施設のパネル展示で設備の説明を行い、あわせて自然庭園の紹介及び簡単などんぐり工作も行いました。また、ステージにおいて『夏の自然観察会』で撮影した写真を小学生7人に発表してもらいました。



どんぐり工作に熱中



一人ずつ7名が発表



発表後又々と記念撮影

## 第11回さいたま市みどりの祭典に参加しました



10月18日(土)19日(日)の2日間、見沼グリーンセンター(市民の森)で開催された“みどりの祭典”に参加しました。天候にも恵まれ多くの方々が来場しました。当日は熱気球が上がり親子で搭乗体験をされていました。当館では庭園で見られる見沼の生き物についてのパネル展示を行い、身近な自然に関心を持ってもらうため、簡単なクイズで大人から子供まで環境について考えていただきました。また、新しい趣向の“どんぐり工作”も行い、親子で自由に工作を楽しんでいただきました。

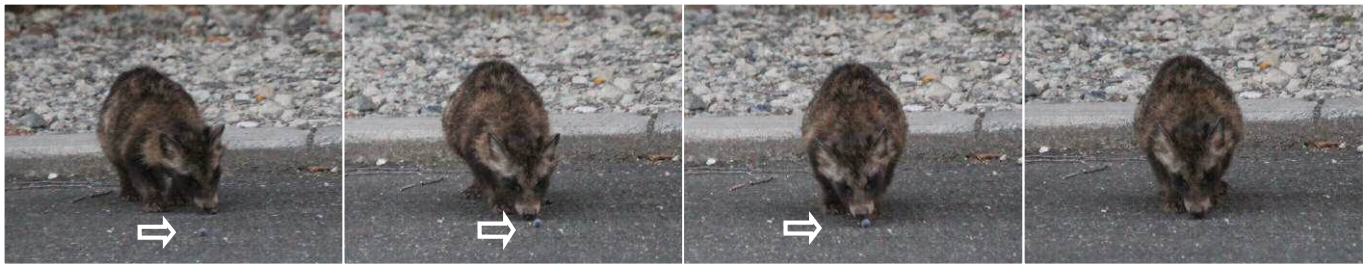


来場者の作品



# 子タヌキ庭園に現れる！

7月25日、タヌキが庭園に姿を現しました。その頃は3匹いましたが現在、昼間目にするのは1匹です。人に慣れてきたのか、駐車場で地面に落ちたムクノキの完熟した実を一生懸命拾い食いしています。野原では、バッタ？コオロギ？（種類を確認できない）などの虫を飛び跳ねながら追いかけて食べています。また、木に登って実を採るのが得意だそうで、なっていたはずのムベの実が無くなっていたり、ヤマボウシの実も食べられたのなくなっていました。庭園を訪れる見学者も、時々姿を見かけたと話してくれます。もし、庭園でタヌキを見かけたときは優しく見守ってあげてください。



\* 白い矢印の先にムクノキの実

## 団体見学がありました



9月25日26日29日に木の実幼稚園の入園前の親子が訪れザリガニとのふれあい、広場で生き物探しを行いました。

9月19日白菊保育園の園児が『遠足』に訪れ一日生き物について体験しました。

10月21日上木崎小学校4年生が『水処理』についての環境学習を行いました。



\* 今年も屋上庭園の魚をねらって、カワセミが時々訪れています。みなさんもそっと覗（のぞ）いてみてください！



**みぬま見聞館は、自然観察・環境学習などの会場としてご利用できます。**  
**入園料は無料です。団体でご利用の場合は事前にお申し込みください。**

発行 さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター（みぬま見聞館）  
所在地 さいたま市見沼区大字上山口新田508-1  
開館時間 AM9:00～PM5:00 休館日 毎月第4土曜日と年末年始  
電話 048-646-6030 F A X 048-646-6033

